アメリカ文学・研究書特集

本特集紙面は、読書人ウェブ上で無料公開しています。上記ＱＲコードからアクセスしてください。

※価格は税込表記

特集　アメリカ文学／研究書あんない

毎年秋に開催される日本アメリカ文学会全国大会。第64回目となる今年は松山大学文京キャンパス（愛媛県）で9月27日（土）・28日（日）に開催される。小紙では毎年恒例となっているアメリカ文学に関する研究書を各出版社のご協力により特集する。また、開催校・松山大学での大会運営を担う日本アメリカ文学会中・四国支部に所属する大地真介氏にエッセイを寄せてもらった。秋の気配が日増しに高まる今日この頃、アメリカ文学の奥深さを味わって欲しい。（編集部）

第64回全国大会プログラム詳細は、日本アメリカ文学会公式ＨＰよりご覧ください。

出版社ガイド

英宝社	☎03-5833-5870
音羽書房鶴見書店	☎03-3814-0491
開文社出版	☎03-3358-6288
金星堂	☎03-3263-3828
国書刊行会	☎03-5970-7421
彩流社	☎03-3234-5931
三修社	☎03-3405-4511
春風社	☎045-261-3168
小鳥遊書房	☎03-6265-4910
南雲堂	☎03-3268-2311

日本アメリカ文学会第64回全国大会に寄せて

一六タルトより漱石

大地真介

学会に出席する目的は、もちろん第一に研究発表や発表の拝聴、懇親会での情報交換を通じて研究交流を深めることにありますが、その合間に観光を楽しみ、さらには家族にお土産を買って帰ることもまた目的の一つではないでしょうか。

さて、今年の日本アメリカ文学会全国大会は、私の所属する中・四国支部が担当させていただき、愛媛県松山市で開催されます。松山のお土産といえば、一六タルトが代表格です。ただし、このタルトを胸を張ってお薦めできるかというと、残念ながら少し躊躇してしまいます。はっきり申し上げて、私の舌にはどうも変な風味に感じられるからです。柚子の皮を混ぜた餡をカステラ風の生地で巻いたこのロールケーキは、長崎のポルトガル菓子に夢中になった松山のお殿様が家臣に模倣を命じて作らせたのが始まりと伝えられます。とはいえ、本当に味を再現できたのかは、大いに疑わしいところです。また、柚の産地なのだからとりあえず柚を入れておけという安易な発想だったかもしれません。いずれにせよ、和と洋のちぐはぐな組み合わせであるように感じられます。

一方で松山は、日本の伝統的感性と西洋の文化思想を見事に融合させた夏目漱石と縁の深い土地でもあります。申すまでもないことですが、漱石は、西洋の小説の形式や技法を日本に定着させ、日本近代文学を確立する上で決定的な役割を果たしました。もちろん、個人主義を重んじる西洋と、共同体を尊ぶ日本という異質な文化を調和させることは至難の業ですので、その過程で漱石は、文字通り血を吐く思いで葛藤しましたが、その葛藤が作品のテーマと呼応し、強い緊張感を生み出して芸術性を高めたといえます。

そう考えると、一六タルトの物足りなさは、まさにこの緊張感の欠如にあるのかもしれません。あくまで私見ですが、柚子の皮入りの餡自体が美味とはいえず、生地をかじっても味気ないので、組み合わせてもおいしい菓子にはならないでしょう。私は抹茶シュークリームが好きですが、典型的な西洋菓子のシュークリームと、日本の茶の湯を象徴する抹茶が合体することで、味わいに絶妙な緊張感が生まれています。漱石文学もまた、現在も世界中で人気の西洋近代小説の形式に、仏教思想・俳諧精神・和漢の修辞・儒教的倫理といった日本文化の神髄を投げかけることで、今なお読む者の魂を揺さぶる力を保持しているといえるでしょう。

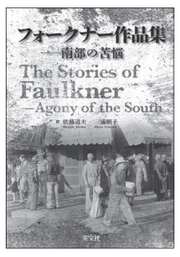
一六タルトはさておき、松山には瀬戸内の新鮮な海の幸、漱石が愛した道後温泉、盟友正岡子規ゆかりの名所など、多くの魅力があります。全国からお越しくださる会員の皆さまには、ぜひ松山の風土と文化を存分に楽しんでいただければ幸いです。大会の成功に向け、私たち中・四国支部一同も緊張感を持って運営いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（おおち・しんすけ＝広島大学大学院人間社会科学研究科教授・アメリカ文学）

インセル時代の男たち　弱者男性で読む日米映画

四六判・232頁・2970円
國友万裕著　アメリカの「インセル」＝非自発的な独身男性と「有害な」男らしさに悩む日本の男性。日米の映画を通じてジェンダーを弱者男性の視点から考える。
英宝社

フォークナー作品集　南部の苦悩



四六判・340頁・2750円
ウィリアム・フォークナー著／依藤道夫・三浦朝子訳　フォークナーの短編十一編を収録。アメリカ南部を舞台に、人種、暴力、貧困を鋭く描いた珠玉の作品群。
英宝社

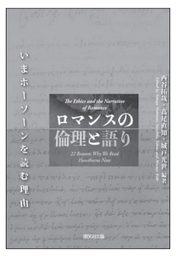
異質なるもの　英米文学の視点から

Ａ５判・162頁・2640円
文学と評論社編　「異質なるもの」との遭遇・現実世界の倫理の再構築へと誘う。本書の８つの論考は種々の「異質なるもの」が蠢く文学の一端を読者へ届ける。
英宝社

英米文学アラカルト　お気に召すまま

Ａ５判・514頁・2750円
岡本正明著　「英米文学の散歩道」本書は英米作家（文筆家）、あるいは、英米の視点からとらえたニッポン文学・文化についての三十編ほどをまとめたものである。
英宝社

ロマンスの倫理と語り　―いまホーソーンを読む理由



Ａ５判・480頁・5280円
西谷拓哉・髙尾直知・城戸光世編著　ホーソーン研究の現在地を示す22人の論客による日本ナサニエル・ホーソーン協会40周年記念論文集。ホーソーン文学を読むとは。
開文社出版

【増補版】感情のカルチュラル・スタディーズ　―『スクリューティニ』の時代からニュー・レフト運動へ

四六判・360頁・2420円
山田雄三著　レイモンド・ウィリアムズの「感情構造」概念の紹介・解読から、未だに色褪せないこの概念の優れた案内書として、新たな息を吹き込む。
開文社出版

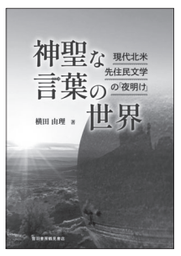
英国の書物出版文化史　―著者、出版業者、読者との関係から

Ａ５判・176頁予定・予価3300円
都地沙央里編（他４名）　活版印刷術の黎明期から20世紀に至る500年の英国書物出版史にて、著者、印刷者、出版者、読者と文学の関連性を紐解き、新しい世界へ誘う１冊。
開文社出版

人種と民族を考える十二章　英米文学・文化・教育の視点から

Ａ５判・300頁・3850円
吉田一穂・藤原愛・横山孝一編著「イギリス文学・文化」「アメリカ文学・文化」「言語教育」の視点から、人種と民族を12人が論じる。多文化主義や共生のヒントを提示。
音羽書房鶴見書店

神聖な言葉の世界　現代北米先住民文学の「夜明け」



Ａ５判・420頁・4180円
横田由理著　数十年にわたる現代ネイティヴ・アメリカン文学研究の結実を余すところなく伝える一冊。西欧文化中心の世界と、その価値観の再考をも促す画期的な論集。
音羽書房鶴見書店

Ｈ．Ｄ．ソロー　色彩と色合い

四六判・224頁・3080円
奥田穣一著　詩人・思想家ソローの『日誌』を、色彩という観点で読み解く。美学的な側面のみならず、哲学的な考察も織り込み、色彩にこだわった国民作家の本質にせまる。
音羽書房鶴見書店

おじいさんの椅子の物語　ホーソーンの描くアメリカ建国史と偉人伝

四六判・472頁・3520円
ナサニエル・ホーソーン著／大野美砂・髙尾直知・中西佳世子訳〈いま〉のアメリカがわかる〈むかし〉の話。大作家が子どもに語る植民地時代から建国までの米国史。
国書刊行会

現代演劇 Vol. 特集 トニー賞・ピューリツァー賞Ⅱ

Ａ５判・264頁・2750円
現代演劇研究会編　おおよそ2000年以降にアメリカで上演され、トニー賞・ピューリツァー賞を受賞あるいはその候補にあがった作品群を取り上げる特集の第２弾。
金星堂

完訳エミリ・ディキンスン詩集　第2版23（フランクリン版）

Ａ５判・560頁・5500円
新倉俊一監訳／東雄一郎・小泉由美子・江田孝臣・朝比奈緑訳　原作の新たな定本フランクリン版に準拠した、ディキンスン完訳詩集の改訂第２版。
金星堂

だから映画はおもしろい　アメリカ映画とエスニシティ

新書判・370頁・1980円
君塚淳一・馬場聡・河内裕二編著39本のアメリカ映画を中心に、関連する作品も多数紹介。映画を通して「アメリカ」を理解するためのガイドブック。
金星堂

領域のかなたに　横断する言語表象と再生をめぐって

Ａ５判・261頁・3080円
片平会編　学術研究が多様化の一途をたどる現代において「領域のかなた」の知見の追求を目的とした、言語学、言語教育、文学（文化）批評の専門家たちによる論集。
金星堂

スポーツする英語文学

Ａ５判・192頁・2750円
サウンディングズ英語英米文学会監修／杉野健太郎・下楠昌哉編
ホイットマンからオオツカなど、19世紀から21世紀に至る英語文学におけるスポーツを論じる。
金星堂

異端のモダニスト　エドナ・セント・ヴィンセント・ミレイのソネットを読む

四六判・300頁・3960円
別府恵子、中村仁美、三杉圭子著・編訳　モダニズム全盛期に伝統的なソネット形式を駆使したミレイの異端性とは。作品の特徴を詳解し、再評価を促す。対訳付。
春風社

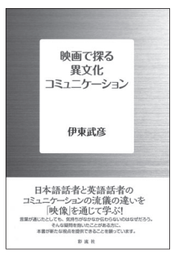
アメリカ文学との邂逅　アーシュラ・K・ルグィン　新たなる帰還

四六判・408頁・4180円
佐々木真理著　想像力の持つ可能性と希望を信じ、異文化の共存の可能性を模索し、限界に挑戦し続けたルグィンの螺旋をのぼる旅をたどる。シリーズ第5弾。
三修社

アメリカ映画史入門

Ａ５判・462頁・4180円
杉野健太郎責任編集　アメリカの各年代の監督と作品を映画史的意味とともに紹介。82人の監督、63作品については個別に取り上げ概説する。日本映画学会監修。
三修社

映画で探る異文化コミュニケーション

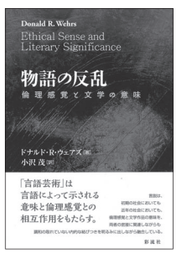


Ａ５判・176頁・2750円
伊東武彦著　英語・日本語映画の分析を通し、日本語話者と英語話者それぞれの文化や価値観を明らかにし、日本人にとっての「適切な英語」を考える。
彩流社

センサスが語るアメリカ史　人口と統治の結びつきがもたらす国家の変容

Ａ５判・284頁・3520円
加藤洋子著　アメリカは「人口」をどう数えてきたのか。植民地時代から現代にいたるまで、センサスがアメリカ国家のあり方を変えてきた歴史をたどる。
彩流社

物語の反乱　倫理感覚と文学の意味



四六判・484頁・4400円
ドナルド・Ｒ・ウェアズ著／小沢茂訳　倫理学、神経認知科学、進化論、そして文学理論を統合し、文化史・文学史がどう形成されてきたかを考察する。
彩流社

アメリカ文化年表　文化・歴史・政治・経済

Ａ５判・336頁・3850円
亀井俊介監修　杉山直子／澤入要仁／荒木純子／渡邊真由美著　世界や日本の動きも視野に収め、人間の「文化」の営みを具体的に描き出す。
南雲堂

アメリカ文学と大統領　文学史と文化史

Ａ５判・540頁・6380円
アメリカ大統領選を百倍楽しめるガイドブック！　文学史と歴史学をスリリングに交錯させる論考集。
監修：巽孝之／編纂：大串尚代、佐藤光重、常山菜穂子
南雲堂

アメリカン・ミュージカルと文化表象

Ａ５判・368頁・3740円
山本秀行・渡邊真理香編著　構成要素、歴史、社会表象の解説、重要作品47選と、年表・基本文献リストもついて、まずこの一冊！
小鳥遊書房

現代思想を使って映画批評！　ハリウッドとケンブリッジで学んだ、映画のすばらしさを知る方法

Ａ５判・206頁・2420円
鈴木健著　映画で卒論やレポートを書く学生が増えているなか、現代思想を通して映画批評とは何かを理解できる。アカデミック・ライティング入門に最適！
小鳥遊書房

少年の心　ロバート・フロスト詩集

新書判・274頁・2860円
藤本雅樹訳　若者の心の成長発展の過程を清冽にうたいあげたアメリカ国民的詩人の第一詩集を新訳でお届けします。詳細な注釈、訳者による随想も収録。
小鳥遊書房

ハックルベリー・フィンの冒険

Ａ５判・438頁・3300円
マーク・トウェイン著／市川亮平訳　「冒険小説」「コメディー小説」「紀行文」「社会小説」「推理小説」として、様々な表情をもつあの名作を新訳で！
小鳥遊書房

日本アメリカ文学会全国大会開催を機に

2025年9月27日（土）・28日（日）〔於・松山大学 文京キャンパス〕